

わたしの 歩んだ道

Vol.27



かとう かずき
加藤一希さん (ラグビー選手)

はるひがおか げん
春日丘高等学校(現・中部大学春日丘高等学校)、中部大学を経て、平成29年に宗像サニックスブルースに入団。5年間でセキ籍した後、昨年、クボタスピアーズ船橋・東京ベイに移籍。今年5月にジャパンラグビーリーグワンでチーム創設以来の初優勝を果たした。

心からラグビーを楽しんだ3年間

ラグビーは、中学校の先生に誘われて始めました。痩せていて、運動神経も良くない自分が周りについていけないか不安でしたが、顧問の先生や部員に恵まれ、本当に楽しくラグビーに打ち込むことができました。3年間の経験がその後のラグビー人生につながっていると思います。

春日井市で努力を重ねて誰よりも成長

高校は花園出場を目指し、強豪校の春日丘高等学校に入学しました。部員の体格をみて、人並の努力では追いつけないことを痛感し、チームの練習以外の時間はウエイトトレーニングなどの個人練習を休むことなく毎日繰り返し、努力を続けました。入学当初50kgしかなかった体重も95kgになるまで体を作り上げました。レギュラーは獲得できませんでしたが、このとき積み重ねてきた努力が、現在の自分の礎になっていると思います。

中部大学へは当時の監督の誘いを受けて入学しました。ラグビー部では最終学年に主将を務め、チームを牽引しました。

覚悟を決めてプロの道へ

大学卒業後はあえて厳しいプロの道へ進みました。プロはラグビーだけに集中できる反面、結果を残さなければ終わりの世界です。プロの選手は本当に凄い選手ばかりで、今まで以上に努力しないと自分に先はないと覚悟をもってラグビーと向き合ってきました。

しかし昨年、所属していた宗像サニックスが休部に。移籍先が決まらなければ引退も覚悟していたなか、手を差し伸べてくれたのが現在のクボタスピアーズでした。何とか恩返しをしたいという思いの中、今年5月、チーム悲願のリーグ初優勝



夢をかなえるために

自分の好きなことを見つけて、それに向けて一日一日を大切に過ごしながら、努力を続けることが大切です。1日が終わったらその日を振り返り、明日につなげる。その積み重ねを1年繰り返せば、1年分の振り返りとなり、自分をさらに成長させる糧になると思います。その継続が、必ずや夢をかなえることにつながるはずです。



勝を果たすことができ、自分自身にとっても今後に向けて大きな自信になりました。

日本代表に入り

夢のワールドカップへ

今の最大の目標は日本代表に入ること。そして私の夢は、高校の同級生である日本代表の姫野和樹選手とともに、「ラグビーワールドカップ2027 オーストラリア大会」に出場することです。

今後もラグビーと真摯に向き合います。